

5. 診 療

1) 病院概況

- (1) 本 院 (院 長：井田博幸
副 院 長：山本裕康・小島博己・瀧浪将典・中野 匡・安保雅博・小澤かおり
事務部長：横山秀彦)

(1) 患者数

- ① 外来1日平均患者数：2,297名（対前年度比－443名）
- ② 入院1日平均患者数： 686名（対前年度比－204名）

(2) 病床利用状況

病床稼働率は64.1%（稼働床：4月～1月1,070床、2月～3月1,075床、昨年比－18.7p）、平均在院日数は、13.1日（昨年比＋0.7日）であった。

(3) 紹介率・逆紹介率

紹介率は年間平均で医療法77.3%（昨年比＋2.6p）、保険法76.0%（昨年比＋1.8p）であった。逆紹介率は医療法56.7%（昨年比＋6.6p）、保険法58.4%（昨年比＋7.1p）であった。

(4) 保険関係承認・届出関係（日付は算定開始日）

- ① せん妄ハイリスク患者ケア加算 (2020年4月1日) ※新規
- ② 排尿自立支援加算 (2020年4月1日) ※新規
- ③ 地域医療体制確保加算 (2020年4月1日) ※新規
- ④ 救急医療管理加算 (2020年4月1日) ※変更
- ⑤ データ提出加算 (2020年4月1日) ※変更
- ⑥ 歯科外来診療環境体制加算 2 (2020年4月1日) ※変更
- ⑦ 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算 (2020年4月1日) ※新規
- ⑧ がん患者指導管理料のニ (2020年4月1日) ※新規
- ⑨ 婦人科特定疾患治療管理料 (2020年4月1日) ※新規
婦人科特定疾患治療管理料 (2020年9月1日) ※変更
- ⑩ 腎代替療法指導管理料 (2020年4月1日) ※新規
- ⑪ 療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算 (2020年4月1日) ※新規
- ⑫ 外来排尿自立指導料 (2020年4月1日) ※新規
- ⑬ 持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合) (2020年4月1日) ※新規
- ⑭ B R C A 1 / 2 遺伝子検査 (2020年4月1日) ※新規
- ⑮ がんゲノムプロファイリング検査 (2020年4月1日) ※新規
- ⑯ 先天性代謝異常症検査 (2020年4月1日) ※新規
- ⑰ 遺伝性腫瘍カウンセリング加算 (2020年4月1日) ※新規
- ⑱ 単線維筋電図 (2020年4月1日) ※新規
- ⑲ 黄斑局所網膜電図 (2020年4月1日) ※新規
- ⑳ 全視野精密網膜電図 (2020年4月1日) ※新規
- ㉑ 経頭蓋磁気刺激療法 (2020年4月1日) ※新規
- ㉒ 子宮付属器腫瘍摘出術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。） (2020年4月1日) ※新規
- ㉓ 椎間板内酵素注入療法 (2020年4月1日) ※新規
- ㉔ 角膜移植術の注2に掲げる内皮移植加算 (2020年4月1日) ※新規
- ㉕ 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。） (2020年4月1日) ※新規
- ㉖ 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術 (2020年4月1日) ※新規
- ㉗ 不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの) (2020年4月1日) ※新規

⑳	経皮的下肢動脈形成術	(2020年4月1日) ※新規
㉑	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	(2020年4月1日) ※新規
㉒	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	(2020年4月1日) ※新規
㉓	同種クリオプレシピテート作製術	(2020年4月1日) ※新規
㉔	小児運動器疾患指導管理料	(2020年4月1日) ※新規
㉕	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	(2020年4月1日) ※変更
㉖	導入期加算	(2020年4月1日) ※変更
㉗	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	(2020年4月1日) ※変更
㉘	保険医療機関間の連携による病理診断	(2020年4月1日) ※新規
㉙	病棟薬剤業務実施加算1・2	(2020年5月1日) ※変更
㉚	入退院支援加算1	(2020年5月1日) ※変更
㉛	総合周産期特定集中治療室管理料	(2020年5月1日) ※新規
㉜	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	(2020年5月1日) ※新規
㉝	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	(2020年5月1日) ※新規
㉞	両室ペースシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペースシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	(2020年5月1日) ※新規
㉟	医師事務作業補助体制加算1 25対1	(2020年4月1日) ※変更
	医師事務作業補助体制加算1 30対1	(2020年6月1日) ※変更
	医師事務作業補助体制加算1 25対1	(2020年10月1日) ※変更
㊱	摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下支援加算	(2020年7月1日) ※新規
㊲	CT撮影及びMRI撮影	(2020年7月1日) ※変更
㊳	特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1入院基本料)	(2020年7月1日) ※変更
㊴	急性期看護補助体制加算(25対1(看護補助者5割以上))	(2020年7月1日) ※変更
㊵	看護職員夜間配置加算(看護職員夜間12対1配置加算1)	(2020年7月1日) ※変更
㊶	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	(2020年8月1日) ※新規
㊷	小児入院医療管理料2	(2020年9月1日) ※変更
㊸	特定集中治療室管理料3	(2020年9月1日) ※変更
㊹	オンライン診療料	(2020年9月1日) ※新規
㊺	終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	(2020年9月1日) ※新規
㊻	CAD/CAM冠	(2020年9月1日) ※新規
㊼	婦人科特定疾患治療管理料	(2020年9月1日) ※変更
㊽	感染防止対策加算	(2020年10月1日) ※変更
㊾	特定集中治療室管理料1	(2020年10月1日) ※変更
㊿	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(2020年10月1日) ※新規
①	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(2020年10月1日) ※新規
②	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	(2020年12月1日) ※新規
③	脳波検査判断料1	(2021年1月1日) ※新規
④	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	(2021年2月1日) ※新規
⑤	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(2021年2月1日) ※新規
⑥	腹腔鏡下臍頭部腫瘍切除術	(2021年2月1日) ※新規

⑥⑤ 重症度等療養環境特別加算

(2021年3月1日) ※変更

(5) 先進医療

新規申請・承認（申請1件、承認1件）

- ・腎血管筋脂肪腫に対する腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるものに限る。）腎血管筋脂肪腫（結節性硬化症によるものに限る。）（泌尿器科）

(6) 臨床研究・保険適用外診療

- ・承認件数：新規申請190件、変更申請（期間延長など）155件

(7) 指導・監査

- ① 医療法第25条第1項による立入検査（東京都）（2020年11月18日）
- ② 医療法第25条第3項による特定機能病院立入検査（関東信越厚生局）（2020年11月18日）
- ③ 精神病院等実地指導（東京都）（2020年11月18日）

(8) 医療安全

① 職員個人の安全確保に対する意識向上への取り組み

安全確保のために、個人の意識を高め基本的な安全推進活動を習慣化させることが重要と考え、各種オリエンテーション、会議、研修などにおいて、名前の確認・指さし声だし確認・チェックバックなどの基本的な安全確認行為の周知を必須項目とし、習慣化につなげる取り組みを行った。

② 診療情報の共有強化に向けた取り組み

外部委員を中心とした「診療情報共有改善検討委員会」から提言された6項目のすべてについて、具体的再発防止策の立案を行い、ハンドオフシートの作成率向上、患者への検査報告書の原則交付等の具体的な取り組みを継続して実施した。また、業務課医師事務支援室への支援及び連携強化に努めた。

③ Team STEPPSの活用に向けた取り組み

COVID-19の影響でグループワークの開催が困難な状況のなか、代替として、基本的な内容についてe-learningのコンテンツを作成し、TeamSTEPPSの周知に努めた。受講人数は812名であった。

④ 安全文化の醸成を目指した研修開催

全教職員対象のセーフティマネジメント基礎研修についてe-learningでの受講を開始した。4病院合同セーフティマネジメントシンポジウムを年1回開催し、e-learningでの受講も可能とした。新規採用教職員・転入職員対象研修、委託・派遣職員対象研修については感染症対策を行い集合形式で開催した。初期研修医やレジデントを対象とした研修については、集合研修を実施できなかったため、代替としてレポート提出を義務付け、医療安全に関する総合的な知識の普及をはかった。

⑤ セーフティマネージャーを主体とした活動

医療安全推進活動の主体をセーフティマネージャー（SM）と位置づけ、SMが主体となり安全な医療体制の構築に努めた。全部署を対象としたラウンドについては感染対策のため実施方法を再考して少人数で実施した。またSMを中心に薬剤・中心静脈挿入・その他の作業部会やワーキンググループを作り、それぞれに特化した集中的な安全推進活動を行った。

⑥ 個別対応の強化を目指した活動

個々の医療事故イベント防止を目指して、医薬品安全使用、医療機器安全使用、MRIなどについて、担当部署と共同し、それぞれのイベントに特化した研修をe-learningで行った。

⑦ 他病院との連携強化に向けた取り組み

慈恵医大附属4病院間では定期的な4病院セーフティマネジメント会議を開催し、問題点の共有を図るとともに、相互ラウンドによる相互チェックを行った。慈恵医大附属4病院以外では、都内の私大病院間の連携強化を目的とした都内私大病院安全連絡会議

(COMPASS) を、また全国私大病院間での医療安全連絡会議への参加及び連携強化を目的とした相互ラウンドを、慶應義塾大学病院と行った。

⑧ 特定機能病院承認要件の院内周知

特定機能病院の承認要件について、全教職員への周知を各種オリエンテーション、委員会・会議、研修にて行った。

(9) 感染対策

① 新型コロナウイルス都内流行時の院内感染が発生しない強固な感染対策の再構築

→高度医療継続と地域医療貢献の両立ができる感染症・感染対策の実践

・ TeamCOVID 会議を定期的に開催し、対策のリーダーシップを発揮した。

・ 行政と密に連絡し、積極的に新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行った。新型コロナウイルス感染症患者診療については、感染症科と連携して外来・病棟ともに円滑な運営を行うことができた。さらに、地域の病院における院内クラスター発生時の支援を行い、地域の感染症対策に貢献できた。

◇2020年度新型コロナウイルス感染症入院患者数：527例

◇診療科別内訳

感染症科：405例、小児科：62例、呼吸器内科：23例、産科：18例、腎臓内科：5例、外科：3例、腫瘍血液内科：3例、循環器内科：2例、糖尿病内科：2例、泌尿器科：2例、消化器内科：1例、リウマチ内科：1例

・ 院内における新型コロナウイルス感染症患者、教職員発生時の対応を実施した。

・ 新型コロナウイルス感染症を持ち込まないための水際対策について、関係部署と連携し、入院前のスクリーニング体制の構築・運用を行った。

・ e-learning を導入し、教職員へ新型コロナウイルス感染症について教育啓発活動を行った。

・ 基本的な感染対策として手指衛生の強化を図った。手指衛生指数は前年度比43.90%増加したが、適切なタイミングでの手指衛生の指導が必要である。

・ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、様々な防護用具、消毒薬の入手が困難な状況となったが、SPD と定期ミーティングを開催し、物品不足に至らず対応できた。

② 抗菌薬適正使用の徹底

・ JAST (慈恵抗菌薬適正使用支援チーム) 活動を継続したが、抗菌薬使用量が増加している。更なる介入について検討が必要である。

・ 抗菌薬適正使用加算に対応すべく外来における抗菌薬使用の調査を行った。

③ 他施設との連携の継続

私立医科大学感染対策協議会事務局・推進会議事務局として総会、運営委員会、各専門職部会等の運営について中心となり活動を行った。

◇2020年8月8日 岩手医科大学が主催校としてZOOMで総会開催

◇運営会議1回/年開催

◇2020年8月1日 薬剤師専門職部会開催

◇2020年12月19日 看護師・臨床検査技師専門職部会開催

◇慶應義塾大学病院と相互ラウンド実施 (受入：11/12、訪問：11/5)

◇改善支援1校に対し実施

・ 感染防止対策加算病院との連携、支援

◇感染防止対策加算Ⅱ病院とCOVID-19をテーマに年4回のカンファレンスを開催

・ 感染防止対策加算Ⅰ病院 (東急病院) と2020年3月29日ZOOMを用いて相互ラウンドを実施した。

(10) 患者支援・医療連携センター

① 連携登録医制度の登録医拡大を図った。新規登録医件数67件、合計638件。

(2021年3月末時点)

② 診療のご案内2020を発行した。(2020年8月)

- ③ 連携登録医の方などを対象に「J I K E I 医療連携情報メール」の配信を開始した。(2020年8月)
 - ④ 患者支援・医療連携センターだより「つなぐつながる」を発行した。
・No.20 (2020年7月)、No.21 (2021年1月)
 - ⑤ 予約変更案内について、ナビダイヤルに変更した。(2020年10月)
 - ⑥ 医療機関紹介Webサイト「ホスピタルズファイル (診療科特徴ページ)」に5診療科、「ドクターズファイル (医療トピックス)」に2診療科を当院紹介記事として追加掲載した。(2020年2月1日)
 - ⑦ 区中央部糖尿病医療連携検討会の事務局を患者支援・医療連携センターが担当した。
・総会、作業部会(2回)を開催した。「糖尿病と災害」をテーマとして、市民公開講座、医療従事者対象研修会を2021年2月6日にオンラインにて開催した。
 - ⑧ 第41回慈恵医大夏季セミナー・東京慈恵会医科大学附属病院医療連携フォーラム(2020年9月17日)、東京慈恵会医科大学附属病院医療連携フォーラム(2021年2月18日)は新型コロナウイルス感染症の感染状況により開催を中止とした。
 - ⑨ 「働く人の健康支援研究会」を開催した。
・第12回:2020年11月13日、参加者220人、テーマ「健診“再試”の二次検査」
 - ⑩ 脳神経外科、脳血管内治療部においてオンラインによるセカンドオピニオンを開始した。(2021年2月)
 - ⑪ 子ども虐待対応チーム(CAPS)主催講習会を開催した。
・「子ども虐待の対応方法、CAPSチームの運用について」
e-learningでの受講形式(受講期間:2021年2月1日~2021年3月31日)
 - ⑫ 国際医療支援に関する以下の項目を実施した。
・使用頻度の高い説明同意書(18文書)の英語版を作成し、電子カルテに掲載した。
・「外来受診のご案内」、「入院のご案内」のパンフレットを英訳して発刊した。
・「診療科PR広報誌」の英語版パンフレットを新たに作成し、発刊した。
- (11) 治験センター
- ① 治験の実施:前年度からの継続75件、新規承認25件(前年比+1件)、終了19件(-2件)であった。うち、医師主導治験は5件(±0件)であった。
 - ② 臨床試験への実施支援:1件(±0件)
臨床試験におけるCRC(Clinical Research Coordinator:臨床研究コーディネーター)の支援内容は、治験と同じく被験者対応、スケジュール管理や、データ収集と文書管理等であった。
- (12) 地域がん診療連携拠点病院(腫瘍センター事務局)
- 腫瘍センター事務局として地域がん診療連携拠点病院の指定要件整備と機能強化を推進した。「生活のしやすさに関する質問票」を用いた苦痛のスクリーニング実施、緩和医療の提供を行っている他施設との連携を強化し、内外部の対象患者への対応について更なる改善が施された。その他、院内がん登録3,233件、がん相談1,402件、がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会1回開催、院内看護師に対するがん相談、アピアランスケアの啓発のため、講義資料を作成し、院内各部署の看護師へ配布した。5大がん+前立腺がんのクリティカルパスの運用実績は8件であった。市民公開講座、腫瘍センターセミナー、腫瘍センターサロンについては新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止とした。
- (13) 患者サービス
- ① 患者向け広報誌「すこやかインフォメーション」第63号から第65号を発刊した。
 - ② 2020年度「みんなの健康教室」を以下の日程で開催した。
※NHK放送博物館と共催(患者支援・医療連携センター担当)
年間テーマ「きちんと知ろう感染症」
・第1回 2020年5月16日(土)(中止)

- ・第2回 2020年7月18日(土)(19名参加)
- ・第3回 2020年9月12日(土)(16名参加)
- ・第4回 2020年11月28日(土)(16名参加)
- ・第5回 2020年1月16日(土)(10名参加)
- ・第6回 2021年3月13日(土)(10名参加)

※第1回は新型コロナウイルス感染発生のため中止とした。

- ③ 患者満足度調査を実施した。(2020年2月)

(14) 診療体制の整備

- ① 病院救急車輛の運用は、小児科を中心とした患者搬送を8件(要請9件)行った。
- ② キムリア治療提供可能施設として2月9日に認定され、腫瘍・血液内科、小児科にて治療が可能となった。

(15) 工事関係(日付は東京都への申請日)

- ① F棟2階 超音波応用開発研究部を人工知能医学研究所に用途変更 (2020年4月20日)
- ② E棟・中央棟改修工事後の一部エリアの使用開始 (2020年4月9日)
- ③ 入院前検査センター(AB棟1階・2階)の使用開始 (2020年7月31日)
- ④ F棟2階旧JDCPstudy事務局の室名変更 (2020年8月20日)
- ⑤ AB棟7階 遺伝検査室2の使用開始 (2020年9月25日)
- ⑥ F棟2階大学管理室の室名変更 (2020年9月25日)
- ⑦ F棟3階 西新橋再整備準備室の室名変更 (2020年10月14日)
- ⑧ 中央棟19階「耳鼻科処置室(仮設)」の使用開始 (2020年11月24日)
- ⑨ AB棟7階中央検査部各室の室名変更 (2020年12月23日)
- ⑩ E棟3階大学管理室4の室名変更 (2020年12月23日)
- ⑪ E棟・中央棟改修エリアの使用開始 (2021年1月15日)
- ⑫ 外来棟3階手術室20室の使用開始 (2021年2月4日)
- ⑬ 外来棟地下1階第3照射室の使用開始 (2021年2月19日)
- ⑭ 中央棟3階手術室OR-1室の改修工事 (2021年2月26日)
- ⑮ 中央棟8階レストラン「パティオ」の用途変更 (2021年3月22日)

- (16) 東京都赤十字血液センターによる献血については新型コロナウイルス感染の影響を受け、東京都赤十字血液センターと協議の上、中止とした。

- (17) 「東京慈恵会医科大学附属病院年報」の発刊
2019年度版を2021年3月に発刊した。

(18) 臨床研修

2020年度臨床研修採用者は、医科37名(内訳:本学卒13名、他学卒24名)、歯科3名の計40名であった。

(19) 研修会・講習会

- ① がんに関わる医師に対する緩和ケア研修会(年度1回)
 - ・第24回緩和ケア研修会 2020年11月28日(土) 於:1号館6階実習室
 - 修了者:医師24名(本学24名)
- ② 慈恵ICLSコース, 慈恵BLSコース
 - ・慈恵ICLSコースを1回開催した。
 - 日時:2020年11月7日(土) 午後1時30分~午後6時 本院 参加10名
 - ・ICLS指導者ワークショップ(インストラクター更新要件)、慈恵BLSコース、PBLSコース、JAMPコース(緊急気道管理コース)、は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。
- ③ 保険診療に関する講習会
 - ・第1回 「保険診療の基礎講習会」をe-learningにて配信
 - 期間:2020年7月20日~2020年11月30日 受講者数:4機関合計1,210名

- ・第2回 「外科系アドバンスコース講習会」
2020年7月17日（金） 大学1号館講堂3階、5階、6階 受講者数：363名
- ・第3回 「指導の立場から」
2020年10月6日（火） 2号館講堂 受講者数：215名
- ・第4回 「内科系アドバンスコース講習会」
2020年11月11日（水） 大学1号館講堂3階 受講者数：126名
- ・第5回 「当院の特定共同指導・病院個別指導での指摘事項の検証/施設基準について」
2020年12月7日（月） 大学1号館講堂3階 受講者数：124名
- ・第6回 「本院における査定の傾向と対策/診療録監査実施報告」
2020年12月8日（火） 2号館講堂、大学1号館講堂3階 受講者数：143名
- ・第7回 「保険診療に関するDVD講習会（外科系アドバンスコース）」
2021年3月16日（火） 大学1号館講堂3階 受講者数：39名
- ・第8回 「当院の特定共同指導・病院個別指導での指摘事項の検証/施設基準について」をe-learningにて配信
期間：2021年1月18日～2021年3月31日 受講者数：4機関合計1,054名

(20) 慈恵医大晴海トリトンクリニック（所長：横山啓太郎）

- ① 外来1日平均患者数63人（対前年比-14人）
- ② 健診1日平均健診者数25人（対前年比+2人）※土曜日、健診休止期間含まず

(21) 港区立がん在宅緩和ケア支援センター「ういケアみなと」（施設長：竹下保）

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止対応
 - ・緊急事態宣言発令に伴い、4月13日～5月31日は18時、1月8日～3月21日は20時閉館とした。また、4月～5月のイベントはすべて中止とした。
- ② 開設3年目、年間来館者数1,908人 対前年度比95%
- ③ 年間がん相談件数総数260件（面談138件 電話122件） 対前年度比85%
- ④ 生活の質向上セミナー（看護師）を年間9回開催した。 参加者 43人
- ⑤ 栄養セミナーを年間10回開催した。 参加者 108人
- ⑥ ウェルネスセミナーを年間10回開催した。また、臨時で体操教室を3回開催した。 参加者 58人
- ⑦ アピアランスセミナーを年間5回開催した。 参加者 16人
- ⑧ 両立支援セミナーを年間13回開催した。 参加者 72人
- ⑨ がん緩和ケア区民講演会を年間4回開催した。 参加者 58人
- ⑩ 地域医療者セミナーを年間6回開催した。 参加者 58人
- ⑪ がん予防に関する啓発事業として以下の事業を行った。
 - ・港区立白金小学校6年生のがん教育校外授業を行った。 参加者107人（教員含む）
- ⑫ その他の事業を年間19回開催した（読み聞かせ会6回、ゆかしの杜探検企画1回、映画上映会5回、アロマワークショップ2回、コンサート3回、パチカワークショップ1回、臨床美術1回） 参加者 310人
- ⑬ 運営協議会を年間2回開催した。（7月10日、1月29日）
- ⑭ がん対策みなと2020へ参加した。（10月31日）
 - ・第2部パネルディスカッションのコーディネーターとして高橋アドバイザー、パネラーとして南塚副施設長が参加した。
 - ・展示ブースに当施設の紹介パネルおよびリーフレット等を設置して広報した。
 - ・当施設のプロモーションビデオを会場にて放映した。
- ⑮ 第137回成医会総会2020年10月3日（土）～6日（火）にてポスター発表を行った。
- ⑯ 今年度より、イベント開催内容を後日ホームページより動画配信する運用を開始した。